

令和 6 年度夏期企画展開催要領

1 名称

夢虫になる夏が来る！

2 趣旨

厚木市内には約 7 千 500 種の動植物が生息しますが、このうち昆虫は約 5 千種、全体の約 70%を占めており、本市の重要な生物の一群と言えます。また、鳥類のように双眼鏡など特別な機材を使わずに観察できることや、多様な色彩、形状、生活を持つことで興味関心を引きやすいことは、博物館の展示対象としては優れた要素かと思慮されます。

本展示会は、夏期休業期間に開催することから、色や姿かたち美しさ、かっこよさなどを紹介しながら、その魅力について多角的に紹介するものです。

3 展示構成

(1) ロッポン・ワールド

トノサマバッタの巨大模型をセンターに、簡易模型による体のつくりを学びます。また、興味深い生きざまを切り取った生態写真により、神秘的な生活の一端を垣間見ます。

(2) ミリョク・バツゲン

光り輝く種、赤や青など多色の種、角やきば。ハサミなどを持つ種などの標本、生態写真などで、昆虫の魅力を体感します。

(3) ツキツメ・キワメル

昆虫に魅せられた人たちの研究を通じ、なぜ、どうして、こうなった（魅力に取りつかれた）のかを紹介しながら、昆虫を観察する面白さを実感します。

(4) ノコス・ヨミガエル

自然を扱う博物館は、歴史などを扱う人文博物館に比べて少ないのが現状ですが、神奈川県は他県に比べると数的にも多く、また、立地的な偏りも少なく、恵まれていると思慮されます。当館も含め、自然史資料を収集保存することは後世に伝えるだけではなく、私たちの暮らしている地域の自然の在り方を考えるという意義があります。昆虫標本の保存を通して、こ

の意義を紹介します。

4 開催期間

令和6年7月20日（土）から同年9月16日（月・祝日）まで

5 会場

あつぎ郷土博物館 企画展示室・エントランスホール・廊下ギャラリー

6 主催

厚木市

7 協力

愛川町郷土資料館・小田原市郷土文化館・平塚市博物館・田淵行男記念館・
県央自然史研究会

8 講座等

（1）講演会

ア テーマ

（仮）トンボの魅力を語る

イ 日時

令和6年8月18日（日）13時30分～15時30分

ウ 講師

尾園 暁氏

エ 講師略歴

国内を代表する生物写真家。トンボ目を中心に図鑑などを多数執筆しています。代表作は、ネーチャーガイド日本のトンボ。

（2）観察会

ア テーマ

アカリデサソウ～夏休みラスト・トラップ大作戦～

イ 日時

令和6年8月31日（土）19時～21時

ウ 講師

山本 光人氏・藤田 裕氏・当館学芸員

エ 講師略歴

（ア）山本 光人氏：日本蛾類学会所属。日本産ヤガ科を専攻する一

方、日本産蛾類の幼虫解明に尽力されている。著書に「日本産蛾類幼虫図鑑」など多数。

(イ) 藤田 裕氏：愛川町郷土資料館学芸員。神奈川県レッドデータ生物調査調査員。

(3) ギャラリートーク

ア テーマ・日時

(ア) 博物館の周りにすむ虫と遊ぼう

令和6年7月20日(土) 13時30分～15時30分

(イ) セミの抜け殻からわかること

令和6年8月3日(土) 13時30分～15時30分

(ウ) いろいろな昆虫標本・見学会

令和6年9月14日(土) 13時30分～15時30分

イ 講師

当館学芸員